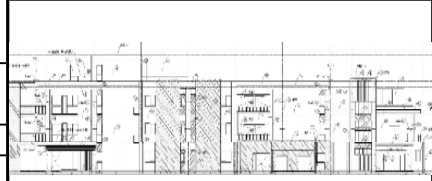


CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	さいたま市立三橋小学校第3校舎	階数	地上3F、地下0F
建設地	さいたま市大宮区三橋二丁目20番地 外31筆	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	1,930 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,650 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2022年2月8日
敷地面積	3,363 m ²	作成者	株式会社松下設計 松下 充孝
建築面積	1,335 m ²	確認日	2022年2月8日
延床面積	3,217 m ²	確認者	株式会社松下設計 松下 充孝



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 92%

③上記+②以外の: 92%

④上記+: 92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 本建物は、さいたま市大宮区に計画された小学校である。		0
Q1 室内環境 ・ 昼光率は2.0%以上とし、光・視環境に配慮する。	Q2 サービス性能 ・ 耐用年数の長い配管材料を採用し、耐用性に配慮する。	Q3 室外環境 (敷地内) ・ 敷地内に低、高木をバランス良く植栽し、生物環境の保全と創出に配慮する。
LR1 エネルギー ・ LED照明を採用し、省エネルギーへ配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・ 省水型機器を作用し、水資源保護に配慮する。 ・ ノンフロン断熱材を採用し、ODP値及びGWP値低減へ配慮する。	LR3 敷地外環境 ・ 広告物照明の設置はせず、光害の抑制に配慮する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
さいたま市立三橋小学校第3校舎・給食室棟改築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.4
Q1 室内環境							0.40		-	3.1
1 音環境						3.5	0.15	-	-	3.5
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						3.9	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.30	-	-	
2 界壁遮音性能		Dr=40				4.0	0.30	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		Lr=50				5.0	0.20	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		Lr=55				4.0	0.20	-	-	
1.3 吸音		壁と天井の二面に吸音材を使用				4.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						2.2	0.35	-	-	2.2
2.1 室温制御						3.0	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.60	-	-	
2 外皮性能						3.0	0.40	-	-	
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						2.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.8	0.25	-	-	3.8
3.1 昼光利用						4.2	0.30	-	-	
1 昼光率		昼光率: 3.54%				5.0	0.60	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		カーテン及び庇の2種類でグレアを制御				4.0	1.00	-	-	
3.3 照度		照度: 612LX				4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.5	0.25	-	-	3.5
4.1 発生源対策						3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	-	-	
4.2 換気						3.3	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		自然換気有効面積が居室面積の1/15以上				4.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		学校内は全面禁煙である				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.7	0.40	-	-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		さいたま市だれもが住みよい福祉のまちづくり条例及び建築物移動等円滑化誘導基準を満たす				4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		天井高: 2.8m				5.0	0.50	-	-	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						1.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性のある内装材の使用、段差のない設計等				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		各階に掃除用流しの設置、清掃用電源の計画等				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		フローリングや岩綿吸音板等の内装材を採用				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種のうち、2種類以上にC以上を使用				4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスはS				5.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.0
1	生物環境の保全と創出	周辺地域の植生に基づいた緑化計画	4.0	0.30	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	既存樹木も含めた植栽による良好な景観形成	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用、防災倉庫の計画等	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.56	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEI _m] = 0.80	3.0	0.50	-	-	3.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマや自動水栓、省水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:タイル、床:ビニル系床材、天井:岩綿吸音板	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	仕上げ材の分別が容易な計画	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない材料を3種類採用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満、GWP=50以下の断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		CO2排出率:92%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場・駐車場ともに十分な台数を確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.75	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.25	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」の一部を満足し、広告物照明はない	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	